

# GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2015 年第 13 週  
(3/23～3/29)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

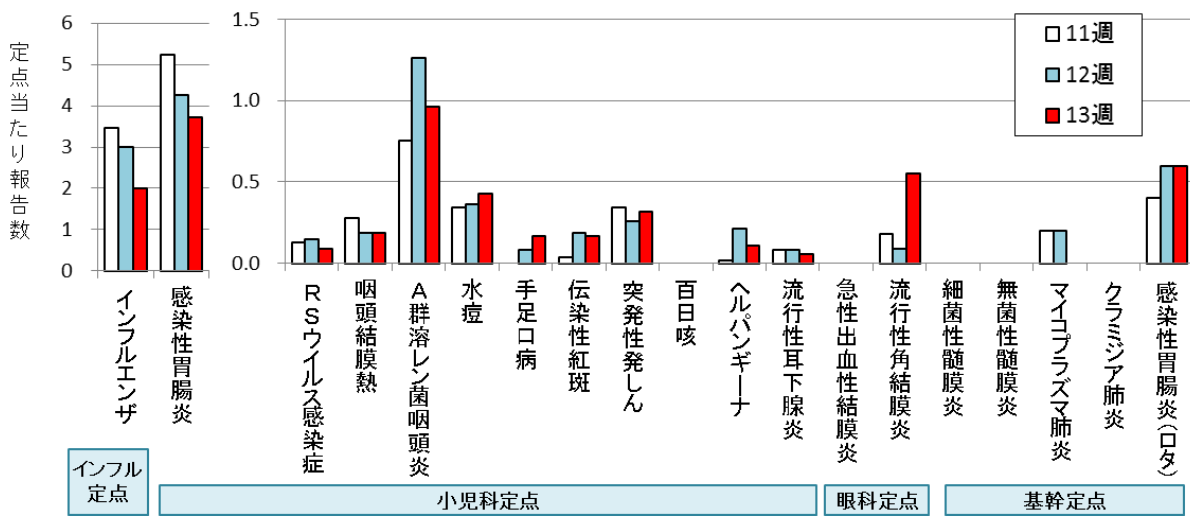
- ◇ インフルエンザは減少しています。
- ◇ 伝染性紅斑が首都圏で増加しています。県内の動向にも注意が必要です。 →トピックス

## ■ 定点把握対象疾患 (インフルエンザ\* 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所)

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所 (定点当たり報告数)
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

### ● 直近 3 週の比較



## ■ 全数把握対象疾患

### ● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 6 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：なし

### ● 2015 年累計

1 類感染症	なし	
2 類感染症	結核	92 例
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 例
	腸チフス	1 例
4 類感染症	デング熱	3 例
	レジオネラ症	4 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	5 例
	ウイルス性肝炎	1 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	15 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4 例
	水痘 (入院例)	1 例
	後天性免疫不全症候群	4 例
	梅毒	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

## ■トピックス

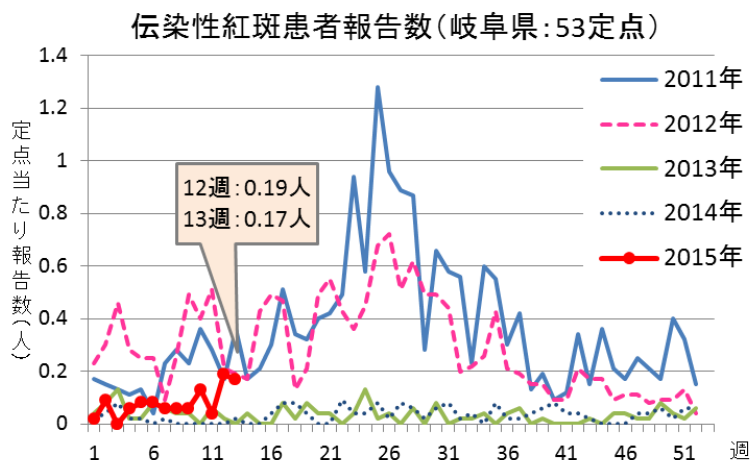
### 《伝染性紅斑（リンゴ病）》

◆ 首都圏で患者数が増加しています。県内でも今後の動向に注意が必要です。

伝染性紅斑は、全国的に4～6年ごとの周期で大きな流行を迎えており、2000年以降では、2001年、2007年、2011年に患者数が増加しています。季節的には、春から夏にかけて増加し、6～7月がピークとなっています。県内においても、2001～2002年、2006～2007年、2011～2012年に流行がみられました。

2015年に入り、東京、埼玉、神奈川など首都圏を中心に患者数が増加しており、全国平均では2013、2014年と比較して高いレベルで推移しています。

県内では、53の小児科定点医療機関からの患者報告数が、第12週10人（定点当たり0.19人）、第13週9人（定点当たり0.17人）と、数としてはそれほど多くはないものの、2013年以降では比較的高いレベルとなっています。夏季の流行シーズンに向けて、今後の動向に注意が必要です。



#### ★伝染性紅斑とは

ヒトパルボウイルス B19の感染による発疹性疾患で、両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」とも呼ばれます。10～20日の潜伏期間の後、両頬の紅い発疹に続き、腕・脚部にもレース様の発疹がみられます。成人では関節痛・関節炎を起こすことがあり、また妊婦が感染すると胎児水腫や流産を起こす場合があります。

#### ★感染症法における取扱い

伝染性紅斑は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouh-ou-kijun.html>（保健医療課 HP）

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>